

保育計画成果報告書

法人名等	一般社団法人 アプリコット保育園
施設名	認定こども園 アプリコット保育園
報告者（役職）	三苫 藍（保育士）
住所・連絡先	群馬県太田市高林南町 239-1
	電話：0276-55-1625

○タイトル(保育計画)

ケアリングハウス ～思いやりの「心」と自然の「命」を育てるビオトープハウス！～

○主な助成備品

2階建てツリーハウス



1. 保育計画策定の目的

子どもたちが生き物や自然に興味を持ち、活動ができるみんなの憩いの場を作りたい。
年齢に合わせて五感で楽しむことができる環境を作りたい。

2. 具体的な実地内容

- ・ 0歳…つかまり立ちの練習ができるように、屋根の下に乳児が興味を持つ鈴やスポンジ、泡立てネットなどを設置し、触って遊ぶことのできる環境を整えた。
- ・ 1・2歳…ごっこ遊びが好きな子どもたちに、石や木の実を入れる箱を用意し、おままごとができるようお店屋さんの用具を設置した。地面には、芝生をひき、グリーンカーテンを設置することで子どもたちの隠れ家になるような雰囲気を作った。また、園にあるタイヤや木のテーブルを置いて子どもが主体の家を園庭に設置した。

・3～5歳児…2階に生き物の家（メダカ・虫）を設置し、餌や虫メガネ、網など飼育に必要なものを子どもの手の届くところに置いて環境を整えた。また、色水のジュースを用意したり、子どもたちが自由に絵を描けるボードも設置した。みんなで看板の色を塗ったり、飾りもデコレーションした。

3. その成果と評価

0～2歳の子どもたちは、お店屋さんになって石を並べたり、お友達とごっこ遊びを楽しむ姿が見られた。0～2歳児の縦の関わりも見られ、一緒に玩具を使って遊ぶ姿が見られた。保育士がのぞくと、椅子に座ってみんなでアイスを食べながら笑ったり、まるでみんなでお店にいるようなそんな微笑ましい姿がうかがえた。保育室とは違い、子どもたちだけの隠れ家になっているようだった。このハウスのテーマである「思いやり」を育む姿が見られたことをうれしく思う。



3～5歳の子どもたちは、メダカや青虫の飼育を担当し、生き物の成長にとっても興味を持っているようだった。メダカが産卵するときは、みんなで優しく別の容器にうつし、生まれた赤ちゃんをみんなで観察した。「小さいのに動いてる!」「お母さんの後追ってるよ!」「かわいいね!」と口々に話す様子が見られた。



今まで虫を見つけると興味のあまり、触りすぎたりおもちゃのように扱うことが多かったが、実際に子どもたちが世話をすることで「みんな！観察しよう！」と網に入れたり、芝生を歩かせるなど、「命」を大事にする姿が見られたようになった。友達と生き物を育てたり、観察することがこの幼児期にとって大切な学びであると改めて感じる事ができた。

また、夕涼み会やハロウィンパーティーなどの行事時には、2階にお菓子を隠し1人で取りに行くなど、子どもたちにとって「ワクワクする場所」にもなった。



4. 今後の課題と展望

今回、朝顔やひまわりを植えたが日当たりや、酷暑が続き綺麗に育つことができなかった。生き物だけでなく、自然にも命があることを体感するために、育ちやすい植物や花などを植え、植物の成長を見ていきたいと思う。今後も、生き物だけに限らず子どもたちの興味のあるもの、子どもたちに学んでほしいことなどを取り込み、どんどんアップデートしていきたいと思う。

子どもたちにとっては、集めた木の実をバケツに入れてハウスに保管するだけでもうれしそうだった。これからも子どもたちにとって、学びや育みのある「ケアリングハウス」として活動を考えていきたい。

以上